

学校支援を積極的に進める

生徒の健やかな成長を支えるPTA活動

扶桑町立扶桑北中学校PTA

1 はじめに

扶桑町は愛知県の北西部に位置し、犬山市、江南市、大口町に隣接しており、木曾川をはさんで岐阜県各務原市とも隣接している。町の北辺を流れる木曾川の扇状地で、そのほとんどが沖積層で形成されている。土地は肥沃で温暖な気候に恵まれ、守口大根の名産地として知られている。本校の周りには文化会館、図書館、中央公民館等を配し、扶桑町の文教地区の一角でもある。



【校舎とシンボルツリー】

本校は昭和57年に町内の扶桑中学校より分離独立し、本年度で創立40周年を迎える比較的新しい学校である。学級数は14学級（内 特別支援学級2）、生徒数408名、職員数43名の中規模校である。校訓「進取」のもと、「明るくたくましい心豊かな知性を備えた生徒」を育成することを目標とし、「元気で笑顔あふれる楽しい学校」を目指している。落ち着いた環境のもと、保護者、地域の方々から温かく見守られている学校である。

2 研究への取組

(1) 研究のねらい

本校PTAは、「教育の充実と発展」を目的として活動している。保護者と教職員が共に手を携えてPTA活動の充実を図ることで、生徒の健やかな成長を支えている。具体的には教育環境の改善、拡充を行ったり、会員相互の研修会や親睦会を実施し、学校教育への理解や協力を進めたりすることで学校を支えている。

研究の視点を以下の2点とした。

- ・ 生徒が安全に学校に登校し、安心して学校生活を送れるように
- ・ 生徒が学習や運動に取り組みやすくなるように

しかし、昨年度、今年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、多くの活動が計画通りに実施できない状況であった。そこで、これまでの取組も含めて、学校支援を積極的に進めてきた本校の活動をまとめたい。

(2) 研究の組織と活動計画

① 組織

【総会】	
【役員会】 <役員 4 > 会 長 1 副 会 長 1 女性部長 1 会 計 1	<事務局 3 > 会 計 1 (教頭) 書 記 2 (教務・校務)
【常任委員会】 <役員 4 > <事務局 3 > <常任委員 8 > 広報 2 福祉厚生 2 環境安全 2 生活文化 2	
【委員会】 <役員 4 > <事務局 3 > <常任委員 8 > <地区委員 2 2 > 広 報 5 福祉厚生 6 環境安全 6 生活文化 5	

② 活動計画

広報委員会	P T A新聞の発行 (10月・3月) 校内体育大会の受付・接待等補助 (9月) ベルマーク回収と集計
福祉厚生委員会	学校保健委員会・給食試食会の企画・運営 (6・1月) 実技講習会の企画・運営 (12月)
環境安全委員会	資源回収の企画・運営 (5月・10月) 制服等リユース活動の企画・運営 (6月・12月)
生活文化委員会	校外巡視活動の企画・運営 (夏休み・冬休み) 研修視察の企画・運営 (11月)

3 実践活動の概要

(1) 安全・安心への支援

① P T Aあいさつ運動

扶桑町は2期制をとっており、中学校では年4回の定期テストが計画される。テスト週間の登校時間 (7:50~8:10) に2箇所校門に分かれてP T A委員による挨拶運動を行っている。P T A委員が近所に住む本校の生徒に声をかけたり、手を振ったりする



【P T Aあいさつ運動】

ことで、笑顔や明るい表情を見せる生徒もいる。生徒の登校の見守りにもなり、交通事故や不審者の防止にもつながっている。

② 小中合同学校保健委員会・給食試食会

学校保健委員会は年2回計画されるが、1回目は小中合同で行っている。2回目は本校の1年間の健康教育活動を振り返り、課題について協議し、本校生徒の生活について、保護者、学校の共通理解を深める。昨年度は「北中生のネット事情」をテーマに協議した。保護者が互いの子育ての不安や悩みを話し合ったり、アドバイスをもらったりする場となっている。

また、給食試食会では生徒が普段食べている給食を実際に食べ、栄養教諭から食育に関する話を聞くことで、安価で栄養バランスのよい給食への理解が深まり、給食への安心感をもってもらうとともに、家庭での食事について考えるきっかけとなっている。



【給食試食会（令和元年度）】

(2) 学習環境への支援

① 資源回収と制服リユース活動

毎年5月と10月の土曜日に資源回収を実施している。地域会（通学班）で割り振られた家庭に、生徒が案内状を配りながら協力をお願いにあたり、当日、責任をもって回収する形をとっている。回収時にはPTA委員を中心として、保護者、地域の方々にも応援していただいている。資源の有効活用への関心を高めるとともに、異学年生徒や地域の方と協力する触れ合いの場になる活動でもある。活動で得た収益は、生徒たちの学びを支える学習環境の整備や拡充など教育環境の充実に充てられている。



【資源回収】



【リユース品の整理】

資源回収の際に制服等のリユース品の回収を行っている。制服、体操服、体育館シューズ、通学用カバンなどを回収し、環境安全委員によって、分別、タグ付け、販売を行う。

保護者会の際に、校内の一室で環境安全委員が希望者に一品 100 円で販売している。

② 体育大会の運営補助

例年、体育大会当日に、駐車場や駐輪場の案内、来賓の受付・接待、会場の巡回などをPTA委員で行っている。本年度は、コロナ禍での体育大会の実施であったため、感染対策として受付で検温表を確認したり、ソーシャルディスタンスの確保の呼びかけを行ったりした。スムーズな行事の運営は、学校にとっては負担軽減になり、生徒と向き合う時間の確保につながっている。



【感染対策に使用したフリップ】

③ ベルマーク集計

本校では、各学級でベルマークを集め、生徒福祉委員会が仕分けをする。分けられたベルマークはPTA広報委員会にわたり、集計を行っている。毎年、着実に収益を上げ、生徒の学校生活に役立つ物品の購入に充てることができている。

④ 除草作業

本校は敷地が広く、普段の清掃ではなかなか除草が追いつかない。草の生い茂る夏休み明けに、保護者、PTA役員のOBや地域の方々に、草刈りを行っている。午前中2時間ほどの取組だが、それぞれ草刈り道具を持ち寄って、効率よく作業にあたっていただき、美しい校庭を維持している。残念ながら、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年の除草作業は中止だったが、大切にしたい活動である。



【除草作業】

4 おわりに

生徒が心豊かで元気に生活していくためには、学校と家庭、地域の協力体制が重要である。本研究を通して、これまで行ってきた学校支援の活動は、どれも生徒たちの心身の健全な育成に欠かせないものであることが再認識できた。また、地域の方々によって支えられている教育活動が多いことが分かり、今後も学校と家庭、地域のよい関係づくりができるPTA活動を目指していきたい。